



かわいっ子

河合小だより

令和2年11月

【学校教育目標】「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」

文責：学校長

「かわい小中合同体育祭2020」に寄せて

吉岡 優

当初5月に予定されていた体育祭。本年度は新型コロナの影響で10月実施となりました。また、降雨の心配もありましたが、みんなの熱気と団結力のおかげで開催することができました。新1年生にとっては、保育所・幼稚園とは全く違うものに見えたかもしれません。それもそのはず、会場は河合中であり、1年生から9年生までの児童生徒が一堂に会し、参加する大イベントだったのであります。



子どもたちは体育祭に向け、連日ダンスやリレーなどの練習を運動場や体育館で行いました。日に日にやる気と一体感が増しているのがわかりました。

コロナの影響で小中の子どもたちが共に練習できる機会が少なかったのですが、綿密な計画と熱心な練習により万全の態勢で本番を迎えることができました。

当日、勝負の行方をハラハラ・ドキドキしながら見守った『徒競走とリレー』。かわいらしさと統一感を見せた『ダンス（宝島と参肆伍蓮華）』。協力することの尊さを学んだ『大玉リレー』。一体感を肌で感じた『綱引き』。どれをとっても100点満点でした。

来賓、保護者・地域の皆様には、寒さや少雨の中でのご観覧ではありましたが、徹底した感染症対策、譲り合っの応援にご協力いただき、体育祭を成功裏に終えることができましたこと、深く感謝申し上げます。今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

クラブ活動に取り組む子どもたち

小学校は4年生以上になると、クラブ活動に取り組みます。毎年自分が好きなクラブ活動を自由を選べるので「今年はこのクラブにしよう。」と主体的に取り組めます。

クラブ活動は、大きく分けると体育系と文科系に分かれます。体育系のクラブ活動は、成長過程にある子どもの体を丈夫にしてくれます。チーム競技であれば、遊びながらルールやマナーを学ぶこともできます。文科系クラブ活動は、興味のあること（好きな科目や伝統文化など）に深く取り組めるよい機会でもあります。今年も、子どもたちは自分で選んだクラブ活動に夢中です。



お茶



ドッジボール

オリパラムーブメント展開事業講演会

オリンピック・パラリンピックは4年に一度開催される世界的な「スポーツの祭典」です。コロナがなければ2020年に東京で開催されるはずでした。開催の目的は「スポーツを通じた人間育成と世界平和」であり、夏季大会と冬季大会があります。



さて、本校では10月27日、『オリパラおじさん』こと、市教委の井上雅規スポーツ振興課長を招いて、オリンピック・パラリンピックについてご講演をいただきました。五輪シンボルの由来から始まり、その歴史、開催のために尽力した人々のことなど、たくさん学びました。講演後、井上課長は「長時間の話だったけど、河合小の子どもたちは最後まで熱心に聞いてくれました。とてもうれしかった！」と話されました。必ずや2021年には東京オリンピックが開催されることを願ってやみません。

11月の主な行事予定



2日(月)【OS】人権教育(LGBT)講演会	12日(木)避難訓練
3日(火)文化の日	13日(金)1,2年ヤクルト出前授業
5日(木)4年疏水出前授業	16日(月)東京混声合唱団ワークショップ
6日(金)学校評議員会	17日(火)1年租税教室
7日(土)、8日(日)小野市学童展(伝産)	21日(土)第2回クリーンエコ(雨天順延)
10日(火)4年疏水現地学習	23日(月)勤労感謝の日
11日(水)5年川島隆太氏講演会(エクラ)	26日(木)【OS】マラソン記録会(雨天順延)

☆【OS】：オープンスクールとして設定しています。